

暑い夏が終わり黄金色の田んぼが
収穫期を迎える季節となりました。

今年はジャガイモ収穫大成功

3月18日～7月15日 今年3月に入ってジャガイモの植え付けをしました。昨年イノシシに種芋を全部食べられてしまった失敗を教訓に将来のことも考えて畑の周囲を1.5メートルの高さのフェンスを張り巡らせました。山辺高校の中井先生のアドバイスをいただきながら黒マルチをかけて畝間の草刈を3回やった結果、7月15日の収穫は大成功、50kgの種芋から500kg以上の立派な男爵とキタアカリを得ることが出来ました。老人施設や保育所、障害者施設で買い取っていただきました。



「王隠堂」に

昨年11月4日(金) 昨年11月4日五條西吉野の後醍醐天皇ゆかりの塔隠堂に有志18名で柿狩りに行きました。たわわになっている大きな富有柿を鋏で取りかぶりついたときはみんな子供にかえたようなハシャギ振りでした。

コーラスがゲスト出演

4月22日(金) 奈良市総合福祉センターで「奈良市肢体障害者福祉協会の創立50周年記念総会」のおめでたい席に呼ばれてきみかげコーラスがゲスト出演、衣装もそろえて皆頑張りました。



西洋シャクナゲを植える

3月25日(土) 青い羽根募金事業で30万円をいただき、西洋シャクナゲを120本植えました。ウッドデッキステージの裏の急斜面なのでしんどい作業でした。しかし、6月にいくつか綺麗な花を付けてくれ将来が楽しみです。



総会と講演

6月4日(日) 奈良県経済倶楽部をお借りして第7回総会を開催、そして、天理よろづ相談所病院神経内科部長の末長敏彦先生に「認知症予防と生活習慣病」と題してご講演をいただきました。高齢者の多い会員の皆様にとって関心の高いテーマだけに58名もの方が出席し質問する方も多かったです。



森のフェスタ2017と今後の課題



8月26日(土)「森のフェスタ2017」開催。当法人にとって1年の最大のイベントであるだけにずいぶん前から実行委員会を開き準備を進めてまいりました。

メイン道路の補修、周辺の整備などスタッフが力を合わせて当日を迎えました。心配された雨も上がり、森の中は涼しくベストコンディション。約170人が集まりました。

縁日は、 かやくご飯、から揚げ、マリネ、抹茶入りシフォンケーキ、アイスクリーム、よもぎ餅、煮こんにゃく、大和茶、そば入りそうめんなどに加えて県立山辺高校によるお茶の接待、野菜販売、かかしの家五平餅など売店もにぎやかでした。



ステージには、

「なんくるエイサー」の踊りと「ゆいまーる三線会」が登場、奄美大島出身で都祁にお住まいの方が指導しておられる魅力的な踊りと歌でした。



次は、 私たち「きみかげコーラス」の登場、樋岡先生のご指導と特訓のお陰で5曲歌い終わりました。

そして、 35名の生徒さんによる三笠中学校吹奏楽部の演奏は圧巻でした。ステージの演奏が終わると皆で「ふるさと」を大合唱、盛り上がりました。



仕上げは、 田原地区の伝統芸能保存会の人達のご指導で千本餅つき、中学生や大人も参加して大喜び。直に2臼の餅が出来上がり、きな粉餅にして皆さんに振舞われました。

最後は、 福引で1等の商品券をはじめ鈴木靴下や中雄作理事提供の品々が当たった人達はニコニコ顔。今回の森のフェスタも中身の濃い充実したイベントとなりました。

反省！会

9月9日(土) 大宇陀の「ヒルトコcafé」で食事を共にしながらスタッフの反省会を持ちました。このとき参加者全員から今回のフェスタの感想やきみかげの森の活動について貴重なご意見をいただきました。

もっと森の中を充実させよ、すずらんをはじめもっと花を植えよ、会員の人達に還元するため森のフェスタを無料にしてはどうか、森の中のトイレが遠くて高いところにあるから近くに簡易トイレを置き、フェスタの時期を8月で良いかどうか再検討したら等など… 皆さんの声を参考にしながら今後のあり方を考えたいと存じます。



追伸

やることが国家社会に役立つものでなければ「ならない」とよく言われます。若いときには理解できなかった言葉ですが、高齢者と呼ばれるようになってようやくわかるような気がいたします。ささやかな活動ですが、仲間の皆様とともに情熱と意欲を持ち続け頑張りたいと思います。

理事長 森岡正宏 29.9 記

